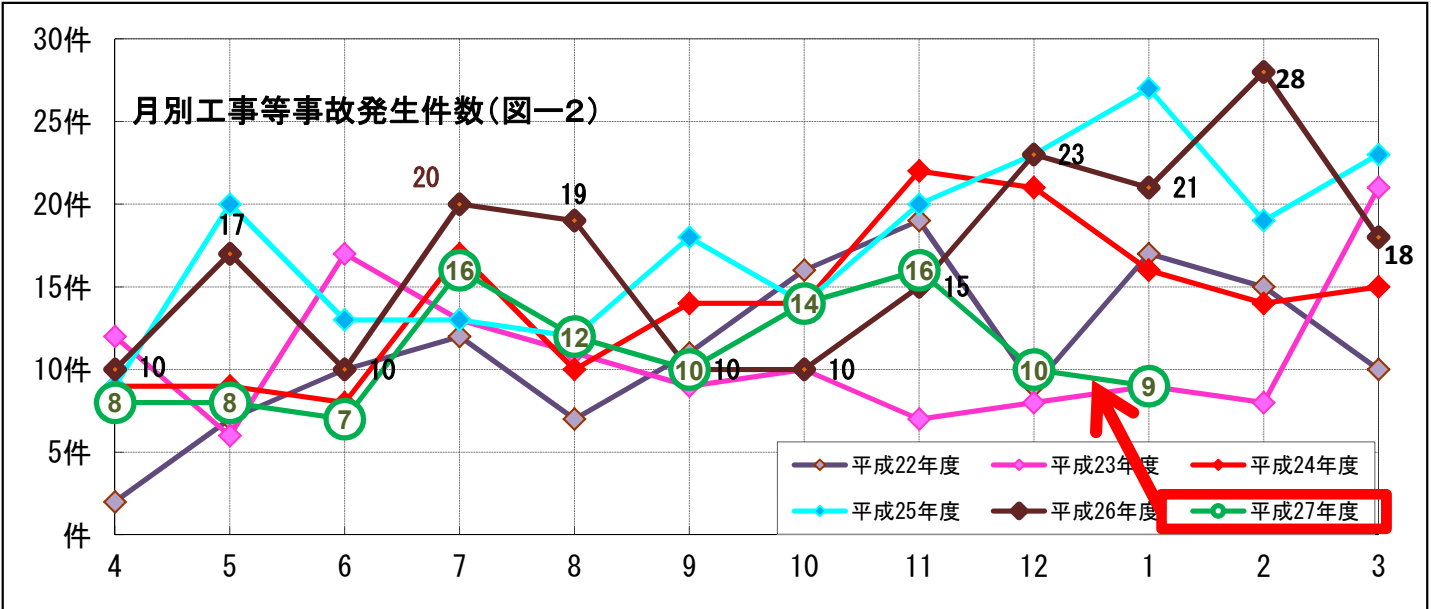
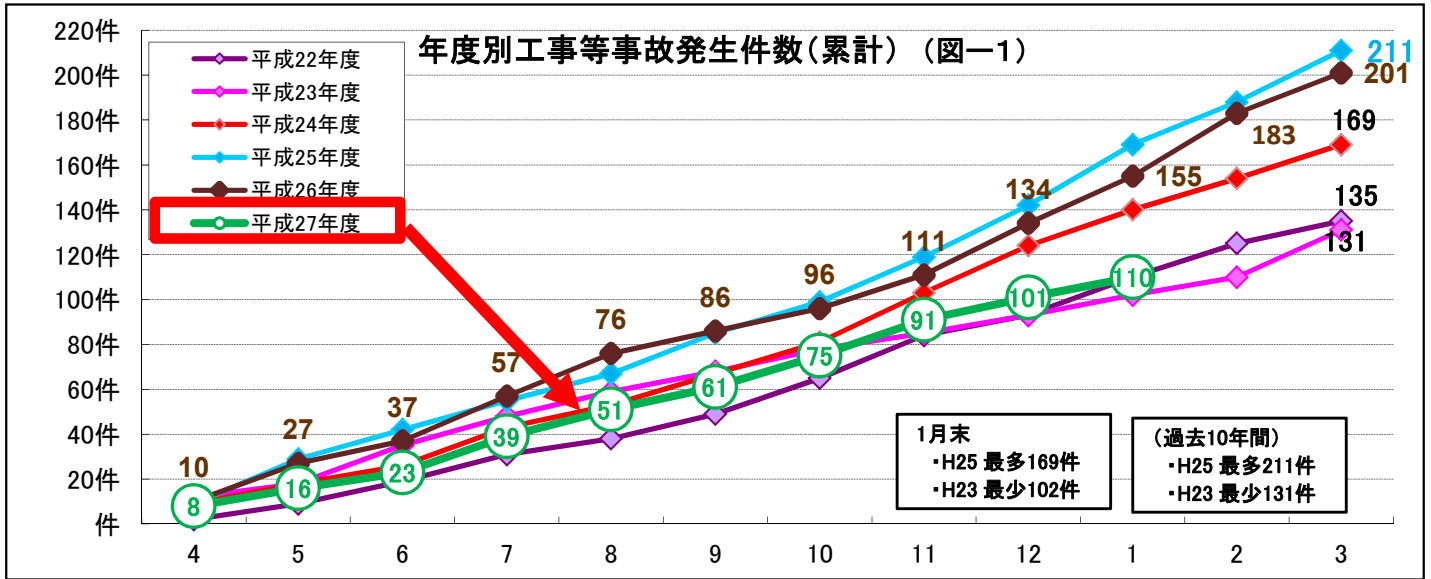


平成27年度請負事故件数速報値(暫定値4月～1月)



平成27年度における1月末までの事故件数(暫定値)は、昨年度の同時期に比べて減少しています。(図-1)

平成26年度 (累計)		平成27年度 (累計)	
9月	86件	9月	61件 Δ 25件
10月	96件	10月	75件 Δ 21件
11月	111件	11月	91件 Δ 20件
12月	134件	12月	101件 Δ 32件
1月	155件	1月	110件 Δ 45件
2月	183件	2月	工事事故発生防止の強化
3月	201件	3月	

年度末、工事事故防止に向けて意識の向上を！！

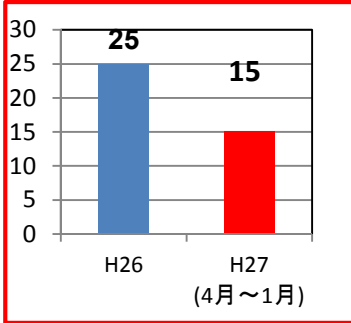
平成26年 (月別)		平成27年 (月別)	
9月	10件	9月	10件 -
10月	10件	10月	14件 4件
11月	15件	11月	16件 1件
12月	23件	12月	10件 Δ 13件
1月	21件	1月	9件 Δ 12件
2月	28件	2月	工事事故発生防止の強化
3月	18件	3月	

暫定値ではありますが、事故の件数は昨年度に比べ、かなり減ってきています。これも、工事に取り組む関係者の努力だと思っております。

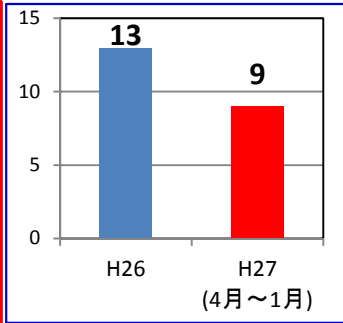
年度末をむかえますが、このまま、工事事故発生防止への意識を高め、職場、現場でも安全対策に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

平成27年度事故防止重点項目速報(暫定値4月～1月)

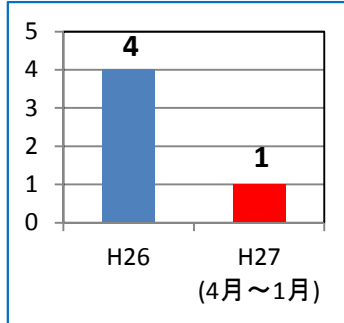
地下埋設物事故



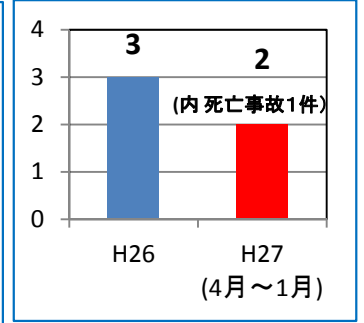
架空線事故



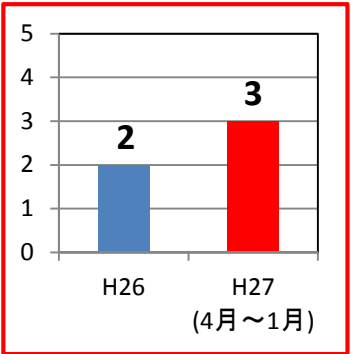
飛来・落下事故



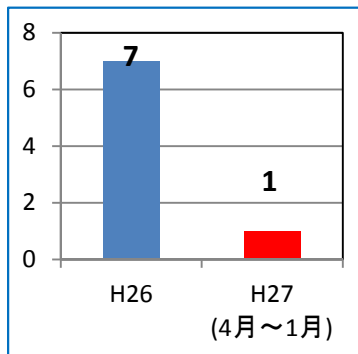
高所からの墜落事故



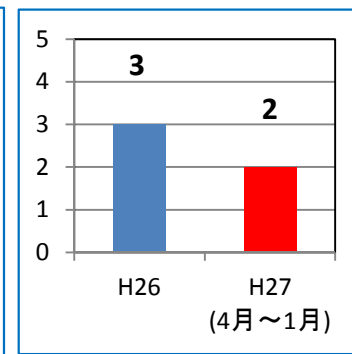
草刈り作業時の飛び石



吊り荷と作業員との接触事故



重機の転倒・接触事故



事故重点項目の発生件数については、事故全体と同様に減少していますが、草刈りによる飛石が昨年度より1件増加しています。

また、地下埋設物・架空線の事故は昨年と同様の数値になりつつあります。地下埋設物・架空線はニュースレターあんぜんでも何度か対策を掲載していますので、参考にして頂けたらと思います。

重機の転倒接触事故は昨年度に比べると、6件減少していますがしかし、減少しているからといって、油断は禁物です。重機・吊荷・飛来落下・墜落はすべてが大きな工事事故もしくは、重篤な事故、死亡事故につながります。今年度の高所からの墜落の2件のうち、1件は死亡事故になっています。

重点で上げていなくても、工事の現場で起こる事故は小さいにしろ、危険をはらんでいます。今一度気を引き締めて、更なる事故減少に為に、安全教育や、安全に対する意識を高めて下さい。

現道における交通規制を伴う規制区間内での工事事故等の防止について (一部抜粋)

以下の規制状況の区間内で工事関係使用者車両と一般車が接触する事故が発生しました。

(規制状況)

- ・片側二車線の自動車専用道路
- ・事故発生時刻が夜間の0時頃
- ・夜間交通量が非常に多い路線(約34,000台/夜間)
- ・走行車線を約1km規制(一般車両は追越し車線を通行)
- ・警察協議(80条協議)の条件では工事用車両は規制区間端部から出入り
- ・途中から出入りする場合は見張り員を配置し安全に配慮すること

(事故概要)

上記の規制状況下でカラーコーン等の規制状況の点検を行うため、点検車が規制区間の端部からではなく、規制区間の途中から見張り員も付けずに追越し車線に出たときに走行してきた一般車両と接触した事故

(留意事項)

今回の事故は非常に交通量が多い自動車専用道路を規制した状況下で発生しており、同様の道路を管理する事務所においては、今回の事故を教訓に(警察との協議内容を受注者に遵守させる等)事故防止に努められたい。

また、他の事務所も含め、一般道であっても、交通規制を伴う現道上の工事施工においては、現地の交通状況に応じた適切な標識設置やバリケード等の交通規制を実施し、併せて警察協議の遵守等を行い、事故防止に努めるよう関係者への周知をお願いいたします。

